

所属・資格 中国語中国文化学科・教授

申請者氏名 赤松 美和子

研究課題		台湾文学におけるジェンダー表象の研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	台湾では 2019 年に同性婚が法制化された。同性婚法制化にあたっては、LGBTQ 団体のみならず、婦女新知などフェミニズム団体も中心的な役割を果たした。 本研究では、フェミニズム文学と LGBTQ 文学におけるジェンダー表象を分析対象とし、その影響関係にも着目しながら、その手法と意義についても比較検討する。
	研究の結果	・『台湾文学の中心にあるもの』を公刊し、「第1章 同性婚法制化への道は文学から始まった」では台湾のLGBTQ文学、「第2章 女性国会議員が40%以上を占める国の文学の女性たち」では台湾のフェミニズム文学におけるジェンダー表象を分析した。 ・従来、台湾のゲイ文学は、概ね台北あるいは海外を舞台として描かれてきた。本研究では、台湾の地方都市（彰化）を舞台として描かれたゲイ文学である陳思宏『亡霊の地』を研究対象とし、同書における語りを、台湾のフェミニズム文学であり地方都市（彰化）を舞台とする李昂『夫殺し』と比較しながら、地方都市を舞台とするゲイ文学が、フェミニズムの語りに関連することによって、家父長的で保守的なジェンダー観に対する批判的な語りを獲得していく手法とその意義について明らかにし、論文「李昂『夫殺し』から陳思宏『亡霊の地』へ—台湾郷土文学におけるフェミニズムとLGBTQ文学の連帯」と題して公刊した。
	研究の考察・反省	今年度は移籍初年度ということもあり、前半は、様々な業務に慣れることに精一杯で、まったく研究できなかった。来年度以降は、計画的に研究を進めたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 研究成果物 （書籍）赤松美和子『台湾文学の中心にあるもの』イースト・プレス、2025年1月、1-288頁。 （論文）赤松美和子「李昂『夫殺し』から陳思宏『亡霊の地』へ—台湾郷土文学におけるフェミニズムとLGBTQ文学の連帯」『中国学研究論集』第42号、2025年3月、141-159頁。 （翻訳）楊佳嫻著、赤松美和子訳「台湾同志詩のなかの「同じ思いの子どもたち」」『現代詩手帖』66巻11号、2024年10月、112-116頁。 （その他）赤松美和子「《総説》台湾文学」『アジア・マップ：アジア・日本研究Webマガジン』立命館大学 アジア・日本研究所、2024年11月。
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	